

令和4年度 第8回 広報公聴委員会 会議録

開催日	令和5年1月5日(木)
会議時間	午前9時59分～午前11時40分、午前11時45分～午前12時00分
開催場所	佐倉市議会 議会棟1階 全員協議会室
出席委員等	[委員長] 爲田 浩 [副委員長] 徳永 由美子 [委員] 高橋 とみお、宇田 実生子、鍋田 達子、密本 成章、 岡野 敦、斎藤 明美、五十嵐 智美、萩原 陽子
欠席委員等	なし
委員外議員	なし
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[局長] 三須 裕文 [次長] 宮崎 由美子 [書記] 飯野 明、里吉 奏子、久保田 雅子
協議事項	(1) 議会だより(11月定例会号)について (2) 意見交換会について (3) 議会だよりレイアウトについて

【決定事項】

(1) 議会だより(11月定例会号)について

- P5 矢印の向きを修正する。
- P5 欄外の用語説明(専決処分)につき、「本来、」は削除。
「(☆下記参照)」及び用語冒頭に「☆」を加筆。

(2) 意見交換会について

- 各委員にて作成予定である『客観的評価』については、アンケート結果を総合的に判断したものを、正副委員長のあとがき前に、作成議員名は記載せずに掲載する。

(3) 議会だよりレイアウトについて

- 2ページ目から5ページ目の一般質問概要欄について
 - ・前提：現行5ページ目下段の『主な議案の概要』は、掲載場所を8ページ目に移す
 - ・配付資料C案のとおり、
文字サイズ12ポイント、文字フォントUDフォント(小見出しMSゴシック太字)、
文字間狭く、ページ設定1行15字、1段56行、4段組

【主な意見等】

(1) 議会だより(11月定例会号)について

- ・P5 矢印の向きの修正を。
- ・P5 欄外の用語説明につき、「本来、」は不要。

(2) 意見交換会について

- ・各委員にて作成予定である『客観的評価』については、現在予定している大項目ごとの作成ではなく、総合的に分析して見えてきた考え方をアンケート結果最後にまとめて記載した方が意味があるものになるのではないかと。

- ・市議会として意見交換会の主体的な意見を掲載するというのであれば、委員外議員を含めて募り、書きたい議員が書けばいい。
会派ごとに真逆の意見を載せることになるのであれば、それは違う。
広報委員の総意として、各委員の意見を出すというのは、絶対にまとまらない。
深い主観は、個々人で発信する際にやればいい。
- ・意見として出すときに「客観的評価を書く」というのは、難しいと感じる。あくまでそれぞれ主観は入る。主観が入るなら全議員がという意見については、会派の意見を打合せしながらまとめていけば網羅できる。
 - ・こういった報告書を作る際には、客観的評価はまとめなければならない。それとは別に、意見を加えればいい。
アンケート集計結果を熟読する人は少ないので、客観的評価は入れた方がいい。
各議員がアンケートを受け止めたということで、誠意が伝わると思う。作成対象が全議員か否かという点については、今回は、議員名を出すかは別として、広報公聴委員だけいいのではないかと思う。
 - ・アウトプットのボリュームに考慮する必要がないのであれば、従来行っていた意見交換会のとおり、議会基本条例に基づいて議員全員参加で行うことがベース。会派ということではなく、議員全員が意見を述べ、まとめる場所がこの委員会ではないか。
 - ・昨年のアンケート集計の際の「客観的評価」も所感のような記載もある。
 - ・今年のアンケート結果は、個別意見が多い。客観的評価を書いているつもりでも、所感は入ってしまう。会派名・議員名を入れないのであれば、対象は全議員でもいいのではないかと思う。

(3) 議会だよりレイアウトについて

- ・文字数を確保するためには、小見出し（『代表質問』、『個人質問』、会派名及び議員名等）の幅を再検討してもいいのではないか。
- ・A案は文字間隔が大きく思った。B案・C案でいい。
- ・市民に知らせるためには、行数が多い方がいいため、C案でいい。

【次回の開催について】

令和5年2月6日（月）午前9時から委員会を開催する。

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 爲田 浩